



中間貯蔵施設区域及びその周辺の 動・植物等調査結果(2023年度)

2024年6月
環境省

動・植物調査の結果(令和5年度)

本業務は、中間貯蔵施設事業としての除去土壌の輸送、分別処理及び分別土壌の貯蔵工事等の実施に際し、動・植物への影響の有無を確認するため、中間貯蔵施設区域内及びその周辺において調査を実施しました。

双葉町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

●調査時期

・4月～9月及び2月～3月(陸生動物(哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類)、猛禽類)

●調査項目

・ 哺乳類*: 5目8科13種

ニホンリス、カヤネズミ、タヌキ、アナグマ、イノシシ等が確認されました。

・ 鳥類*: 10目26科39種

コゲラ、サンショウクイ、キジ、オオヨシキリ等が確認されました。

・ 両生類・爬虫類*: 2目5科6種

アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンカナヘビ、ニホンマムシ等が確認されました。

現在のこれら陸生動物の生物相は、過去、同じ季節に実施した調査結果と比較して大きな変化はないものと考えられました。

●猛禽類(毎年調査)

抱卵期、巣内育雛期及び巣外育雛期にあたる春季・夏季にミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハヤブサ等の8種が、求愛・造巣期にあたる冬季にミサゴ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ等の6種が確認されました。

大熊町(中間貯蔵施設区域及びその周辺)

●調査時期

・4月～9月及び2月～3月(陸生動物(哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類)、猛禽類)

●調査項目

・ 哺乳類*: 5目9科12種

ニホンリス、カヤネズミ、タヌキ、アナグマ、イノシシ等が確認されました。

・ 鳥類*: 10目26科38種

コゲラ、カワラヒワ、キジ、オオヨシキリ等が確認されました。

・ 両生類・爬虫類*: 2目5科6種

ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、ニホンカナヘビ等が確認されました。

現在の陸生動物(哺乳類、両生類・爬虫類)の生物相は、過去、同じ季節に実施した調査結果と比較して大きな変化はないものと考えられました。鳥類では、陸生動物(鳥類)については、過去の調査で確認された種のうち今年度調査では確認されなかった種(センダイムシクイ、オオルリといった樹林性の種)を中心に一定数みられました。これは中間貯蔵施設区域の内外で同様な結果となっており、前回調査時と今年度調査時の気温の違いや植生の変化等の影響が考えられますが、引き続き状況の確認等を行っていく予定です。

●猛禽類(毎年調査)

猛禽類は、抱卵期、巣内育雛期及び巣外育雛期にあたる春季・夏季にミサゴ、ハチクマ、オオタカ、ハヤブサ等の10種が、求愛・造巣期にあたる冬季にミサゴ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ等の7種が確認されました。

*: 3年間隔で調査 ・魚類・底生生物: 令和3年度 / 植物・昆虫: 令和4年度 / 哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類: 令和2年度